

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-521212(P2004-521212A)
 【公表日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-027
 【出願番号】特願 2003-502310(P2003-502310)
 【国際特許分類第 7 版】

E 0 4 B 2/74
 A 4 7 B 91/00
 A 4 7 B 91/02
 A 4 7 B 96/14
 E 0 4 B 2/78

【F I】

E 0 4 B 2/74 5 3 1 S
 A 4 7 B 91/00 Z
 A 4 7 B 91/02
 A 4 7 B 96/14 B
 A 4 7 B 96/14 D
 E 0 4 B 2/78

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

基部、

前記基部から直立し及び前記基部によって支持される、複数の溝が設けられたピン、及び

1 または 2 以上の前記溝と噛合って前記基部とカム素子との間の間隔を変更できる突出部を有する回転可能なカム素子、を備え、前記カム素子は、前記突出部がいずれの前記溝とも係合せず、かつ、前記ピンが前記カム素子を自由に通過できる位置に回転されるようになっていることを特徴とする調整装置。

【請求項 2】

前記基部に対して前記カム素子を付勢する手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 項記載の装置。

【請求項 3】

前記付勢手段に前記カム素子を前記基部から離れるように付勢するスプリングが備えられていることを特徴とする請求項 2 項記載の装置。

【請求項 4】

前記溝が傾斜していることを特徴とする請求項 1 項ないし 3 項のいずれかに記載の装置。

【請求項 5】

前記溝がねじ山を形成することを特徴とする請求項 4 項記載の装置。

【請求項 6】

前記溝が平行であり、前記ピンが対向し合う側面を有し、及び前記一組の溝が前記ピンの

側面のうちの一方に配置され、第二の組の溝が前記ピンの対向する他の側面に配置されていることを特徴とする請求項 4 項記載の装置。

【請求項 7】

前記カム素子に、該カム素子の回転を容易にする器具を受けるようになった開口部が設けられていることを特徴とする請求項 1 項ないし 6 項のいずれかに記載の装置。

【請求項 8】

第一の組の二つ以上のチャンネルと第二の組のチャンネルを備え、各組の各チャンネルはパネルまたはブラケットを前記建築部材へ取り付けするための連携手段を受けるようになっており、前記第一の組のチャンネルは前記第二の組のチャンネルに対して平行でかつ該第二の組のチャンネルから一定間隔が空けられており、第一の組のチャンネルの各チャンネルは一对の側部の間に基部を有し、第一の組のチャンネルのチャンネルの基部は一線をなしており、前記第一の組のチャンネルは第一及び第二ウェブによって前記第二の組のチャンネルから間隔が空けられており、前記第一ウェブは前記第二ウェブに対して平行でかつ該第二ウェブから一定間隔が空けられていることを特徴とする、スタッドあるいは縦仕切りとしての使用に適する建築部材。

【請求項 9】

チャンネルの各組が 3 つのチャンネルから成ることを特徴とする請求項 8 項記載の建築部材。

【請求項 10】

前記建築部材に第一及び第二アームが備えられ、前記第一アームは前記第二アームに対して一定角度をなし、各アームには第一のチャンネル一組、第二のチャンネル一組及び、第一及び第二ウェブが備えられていることを特徴とする請求項 8 項または 9 項記載の建築部材。

【請求項 11】

前記第一及び第二アーム間の角度が 90°であることを特徴とする請求項 10 項記載の建築部材。

【請求項 12】

2 以上のアームを有することを特徴とする請求項 10 項記載の建築部材。

【請求項 13】

3 本のアームを有し、かつ T 字形状であることを特徴とする請求項 12 項記載の建築部材。

【請求項 14】

4 本のアームを有し、かつ十字形状であることを特徴とする請求項 12 項記載の建築部材。

【請求項 15】

前記複数のアームが 2 以上の平面に存在することを特徴とする請求項 12 項記載の建築部材。

【請求項 16】

請求項 8 項ないし 15 項のいずれかに記載の建築部材中へ挿入された請求項 1 項ないし 7 項のいずれかに記載の調整装置。

【請求項 17】

パネルあるいはブラケットを請求項 8 項ないし 15 項のいずれかに記載された建築部材へ取り付けようになっており、かつ一对の可撓性アームが備えられた前記連携手段とさらに接合クリップをパネルあるいはブラケットへ連結する手段を備える接合クリップとしての建築部材であって、前記接合クリップには、二つの分離した部分、即ち、前記接合クリップをパネルまたはブラケットへ連結するための手段を含む長手方向に延びた第一部分と前記一对の可撓性アームを含む長手方向に延びた第二部分が設けられ、前記第一部分は前記第二部分と接合するようになっており、前記接合クリップとしての建築部材。

【請求項 18】

前記第一部分に前記第二部分上のチャンネルへ噛合いあるいは滑り込むようになった突出部が設けられていることを特徴とする請求項 17 項記載の建築部材。

【請求項 19】

前記第二部分に前記第一部分上のチャンネル中へ噛合いあるいは滑り込むようになった突出部が設けられていることを特徴とする請求項 17 項記載の建築部材。

【請求項 20】

前記第一及び第二部分がこれら相互間の結合を補助するように比較的可撓性である素材で作られていることを特徴とする請求項 17 項ないし 19 項のいずれかに記載の建築部材。

【請求項 21】

内部排水系あるいは密封体としても機能することを特徴とする請求項 17 項ないし 20 項のいずれかに記載の建築部材。

【請求項 22】

剛性のある素材から成ることを特徴とする請求項 17 項記載の建築部材。

【請求項 23】

ステンレススチールから成ることを特徴とする請求項 22 項記載の建築部材。

【請求項 24】

前記補助手段中に備えられた前記可撓性アームにチャンネルの壁の溝を補足するようになった溝が設けられていることを特徴とする請求項 17 項記載の建築部材。